

残留農薬検査(平成26年度 その1)

当所では、横浜市内に流通する農産物等の食品に残留する農薬の検査を行っています。平成25年度に検査項目の見直しを行い、農産物ごとに検査項目を設定しました。

今回は、平成26年4月から5月までに食品専門監視班、各区福祉保健センター及び南部市場食品衛生検査所より搬入された農産物等の検査結果を報告します。

1 市内産農産物

4月に搬入されたこまつな(2検体)、トマト及びほうれんそう(各3検体)、5月に搬入されたカリフラワー、きゅうり、ほうれんそう、レタス(各1検体)、キャベツ、こまつな及びトマト(各2検体)の計18検体について検査を行いました。これらの結果を表1に示しました。

その結果、きゅうり1検体からホスチアゼートが0.01ppm、こまつな1検体からイミダクロプリドが0.09ppm、トマト1検体からクロチアニジンが0.02ppm検出されましたが、残留農薬の基準値を超えるものはありませんでした。

検査項目及び検出限界については表2に示しました。

2 国内産農産物

4月に搬入されたキャベツ、きゅうり、こまつな、トマト及びにんじん(各1検体)、5月に搬入されたアスパラガス、きゅうり、大根の根、トマト及びほうれんそう(各1検体)の計10検体について検査を行いました。これらの結果を表1に示しました。

その結果、アスパラガス1検体からアゾキシストロビンが0.05ppm、きゅうり1検体からファモキサドンが0.03ppm、トマト1検体からフェンピロキシメートが0.03ppm、プロシミドンが0.13ppm、にんじん1検体からプロシミドンが0.01ppm、ほうれんそう1検体からイミダクロプリドが0.06ppm、クロチアニジンが0.56ppm、チアメトキサムが0.44ppm、フルフェノクスロンが0.37ppm検出されましたが、残留農薬の基準値を超えるものはありませんでした。

検査項目及び検出限界については表2に示しました。

表1 残留農薬検査結果

(H26年4月～H26年5月)

農産物	産地	検査検体数	農薬検出検体数	検出農薬名	検出値(ppm)	基準値(ppm)	
市内産農産物							
カリフラワー	横浜市	1	0				
キャベツ	横浜市	2	0				
きゅうり	横浜市	1	1	ホスチアゼート	0.01	0.2	
こまつな	横浜市	4	1	イミダクロプリド	0.09	5	
トマト	横浜市	5	1	クロチアニジン	0.02	3	
ほうれんそう	横浜市	4	0				
レタス	横浜市	1	0				
国内産農産物							
アスパラガス	山形県	1	1	アゾキシストロビン	0.05	2	
キャベツ	神奈川県	1	0				
きゅうり	神奈川県	1	1	ファモキサドン	0.03	2	
	群馬県	1	0				
こまつな	神奈川県	1	0				
大根の根	茨城県	1	0				
トマト	神奈川県	2	1	フェンピロキシメート	0.03	0.5	
					プロシミドン	0.13	5
にんじん	徳島県	1	1	プロシミドン	0.01	0.5	
ほうれんそう	群馬県	1	1	イミダクロプリド	0.06	15	
					クロチアニジン	0.56	3
					チアメトキサム	0.44	10
					フルフェノクスロン	0.37	10

表2 農薬の検査項目及び検出限界

農薬名	検出限界 (ppm)	A*1	B*1	農薬名	検出限界 (ppm)	A	B
BHC(α,β,γ及びδの和)	0.005	—*2	○*2	テブフェノジド	0.01	○	○
DDT(DDE,DDD及びDDTの和*3)	0.005	○	○	テフルトリン	0.01	○	—
EPN	0.01	○	○	トラルコキシジム	0.01	○	○
アクリナトリン	0.01	○	○	トリコナゾール	0.01	○	○
アザメチホス	0.01	○	○	トリフルムロン	0.01	○	○
アセタミプリド	0.01	○	○	トルクロホスメチル	0.01	○	○
アゾキシストロビン	0.01	○	○	ノバルロン	0.01	○	○
アニコホス	0.01	○	○	パラチオン	0.01	○	○
イプロバリカルブ	0.01	○	○	パラチオンメチル	0.01	○	○
イプロベンホス	0.01	○	○	ピフェントリン	0.01	○	○
イミダクロプリド	0.01	○	○	ピラクロストロビン	0.01	—	○
インダノファン	0.01	○	○	ピラゾリネート	0.01	—	○
インドキサカルブ	0.01	○	○	ピリフタリド	0.01	○	○
エチオン	0.01	○	○	ピリミカーブ	0.01	○	○
エトプロホス	0.005	○	○	ピリミホスメチル	0.01	○	○
エトリムホス	0.01	○	○	ファモキサドン	0.01	○	○
エンドスルフファン(α及びβの和)	0.005	○	○	フェニトロチオン	0.01	○	○
エンドリン	0.005	○	—	フェノキシカルブ	0.01	○	○
オキサジクロメホン	0.01	—	○	フェノブカルブ	0.01	○	○
オキサミル	0.01	○	○	フェリムゾン	0.01	—	○
オキシカルボキシシ	0.01	○	○	フェンアミドン	0.01	○	○
オリザリン	0.01	○	○	フェンクロルホス	0.01	○	○
カズサホス	0.01	○	○	フェンスルホチオン	0.01	○	○
カフェンストロール	0.01	○	○	フェントエート	0.01	○	○
カルバリル	0.01	○	○	フェントラザミド	0.01	○	○
カルプロノパミド	0.01	○	○	フェンバレレート	0.01	○	—
クミルロン	0.01	○	○	フェンピロキシメート	0.01	○	○
クロキントセット-メキシル	0.01	○	○	フェンプロバトリン	0.01	○	—
クロチアニジン	0.01	○	○	ブタフェナシル	0.01	○	○
クロマフェノジド	0.01	○	○	ブタミホス	0.01	○	○
クロリダゾ	0.01	○	○	フラメビル	0.01	○	○
クロールピリホス	0.01	○	○	フルシトリネート	0.01	○	—
クロールピリホスメチル	0.01	○	○	フルバリネート	0.01	○	—
クロールフェナピル	0.01	○	○	フルフェナセット	0.01	○	○
クロールフェンソン	0.01	○	○	フルフェノクスロン	0.01	○	○
クロールフェンビンホス	0.01	○	○	フルリドン	0.01	○	○
クロクスロン	0.01	○	○	プロシミドン	0.01	○	○
シアゾファミド	0.01	○	○	プロチオホス	0.01	○	○
シアノフェンホス	0.01	○	○	プロピザミド	0.01	○	—
シアノホス	0.01	○	○	ヘキサフルムロン	0.01	—	○
ジウロン	0.01	○	○	ヘキシチアゾクス	0.01	—	○
ジオキサベンゾホス	0.01	○	○	ヘプタクロル(エボキシドを含む)	0.005	—	○
ジクロフェンチオン	0.01	○	○	ペルメトリン	0.01	○	○
ジクロラン	0.01	—	○	ペンシクロン	0.01	○	○
ジコホール	0.01	○	○	ベンゾフェナップ	0.01	○	○
シハロトリン	0.01	○	○	ベンダイオカルブ	0.01	○	○
ジフェノコナゾール	0.01	○	○	ペントキサゾ	0.01	—	○
シフルトリン	0.01	○	—	ボスカリド	0.01	○	○
シフルフェナミド	0.01	○	○	ホスチアゼート	0.01	○	○
シペルメトリン	0.01	○	—	マラチオン	0.01	○	○
ジメトモルフ	0.01	○	○	メタベンズチアズロン	0.01	○	○
スルプロホス	0.01	○	○	メキシフェノジド	0.01	○	○
ダイアジノン	0.01	○	○	メビンホス	0.01	○	○
ダイムロン	0.01	○	○	モノリニューロン	0.01	○	○
チアクロプリド	0.01	○	○	ラクトフェン	0.01	○	○
チアメキサム	0.01	—	○	リニューロン	0.01	○	○
テトラクロルビンホス	0.01	○	○	リンデン(γ-BHC)	0.002	○	○
テトラジホン	0.01	○	○	ルフエヌロン	0.01	○	○
テブチウロン	0.01	○	○				

*1 A:アスパラガス、カリフラワー、キャベツ、きゅうり、大根の根、レタス B:こまつな、トマト、にんじん、ほうれんそう

*2 ○:実施、—:実施せず

*3 DDTはp,p'-DDE、p,p'-DDD、o,p'-DDT及びp,p'-DDTの和

【 検査研究課 微量汚染物担当 】